

## 主催者挨拶



東日本大震災復興支援活動写真展  
気仙沼実行委員会 会長

気仙沼市長 菅原 茂

この度、本市において、東日本大震災復興支援活動写真展&復興祈念コンサートを開催していただきますことに、心より感謝を申し上げます。

また、この写真展とコンサートは、コロナ禍により当初の開催予定から一度延期となりましたが、特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構様をはじめ、多くの関係者の皆様の御尽力により、開催の日を迎えることができました。改めて御礼を申し上げます。

時の流れは早く、東日本大震災の発生から、11年半の月日が過ぎ去りました。

あの日、多くの尊い人命が失われ、先人が築いてきたふるさと気仙沼は姿を変え、市民の家々や財産、思い出など、それまでの日常が一瞬で奪われてしまいました。

震災後の復旧・復興には、これまで数えきれないほど多くのご支援を、全国・全世界の皆様からいただきました。改めて衷心より御礼を申し上げます。

復旧・復興が進み、それとともに人々の記憶も薄れつつある中、私たちの使命は、震災の記録や経験を後世に伝え、次の世代につなげることであります。

自然の猛威に抗うことはできませんが、教訓を糧に被害を最小に抑えることはできるものと考えております。

この度、開催される震災時の復興支援活動の写真展示やコンサートを通じて、震災の記憶を風化させないことは大変意義深いものであります。大災害の救援、復旧・復興にあられた自衛隊と米軍の支援による「トモダチ作戦」、全国の消防、警察などの諸団体、全国からのボランティアの活動、支援など、当時のことが思い起こされ、同時にかけがえのない「縁」をたくさんいただいたと感謝しております。

今後も、全国災害復興活動支援機構様のお力添えの下、全国・全世界に復興支援や防災連携の輪が広がってまいりますよう祈念いたします。



東日本大震災復興支援活動写真展  
気仙沼実行委員会 委員長

気仙沼商工会議所会頭 菅原 昭彦

このたび、特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構様のご尽力により東日本大震災復興支援活動写真展&復興祈念コンサートを開催する運びとなりました。

開催にあたり同機構坂根理事長様はじめ多くの関係者の皆様、活動記録の提供をいただいた団体の皆様、また地元企業・団体の皆様のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

げます。

ご承知のようにコロナ禍における開催ということで感染症対策や展示方法など関係の多くのご指導をいただきながら準備を進めて参りました。

震災の記憶を風化させず、震災の記録や経験を後世に伝えること、そして防災連携の輪を繋いでいくことは私たちの大きな使命であります。本日の写真展示やコンサートの開催がその一助になればと主催者一同心から願っております。

ご来場の皆様には何かと至らない点多々あるかと思いますが、主旨をご理解の上ご協力をよろしくお願い申し上げます。本日はご来場誠にありがとうございます。



特定非営利活動法人  
全国災害復興活動支援機構

理事長 坂根 直樹

まずもって、東日本大震災で被災された方に心からお見舞いを申し上げます、気仙沼市のさらなる復興をお祈り申し上げたいと存じます。

このたび、当地における東日本大震災復興支援活動写真展と開会式、コンサート開催に際し、気仙沼市におかれましては市内の様々な団体が結集され実行委員会を設立頂き、会長に菅原茂市長様、実行委員長に菅原昭彦商工会議所会頭様のご就任され、被災地のこころを映し出す素晴らしい復興祈念事業を創出して頂きましたことにあつく御礼申し上げます。

わたしどもは、大震災後、この10年余で全国45か所の施設を巡回し、無料で写真展、防災フェアを行ってまいりました。この間、各地の観覧者は5万人を越え、協力頂いたボランティアの方々は千人以上を数えます。

このたび、ご縁を頂き、東日本大震災被災地では初めての事業開催となりました。今回は、30を超す団体、ボランティア、被災者の方々から大切な支援活動記録をご提供いただいた500点余りを掲示することができます。また、併せて、陸上自衛隊第6音楽隊、在日米陸軍軍楽隊が初の合同演奏を披露される運びになりました。さらには、開催地を連携交流の輪で繋ぐ事業を計画しております。

私事ですが、ここ2年来、準備のため御地を10回あまり訪問させていただきました。そのたびに、悲しみと苦難を乗り越えて黙々と、力強く確実にまちづくりを進められている行政、諸団体、市民の方々の姿に接し、敬意を深めるばかりでございます。と、ともに遠隔の地・出雲に生まれ育ったものながら、ふるさとの風景や言葉にも似通った何かがあるような気仙沼市への共感に胸を熱くなるばかりであります。

長期にわたり準備頂いた皆様、出展、出場にご協力の団体、ボランティアの皆様にお礼を申し上げますとともに、市民の皆様が憩われる会場をご提供いただきました気仙沼市様に深く感謝申し上げます。

# 東日本大震災復興支援活動写真展 & 復興祈念コンサート

## 東日本大震災復興支援活動写真展

令和4年9月4日(日)

9:00-17:00

気仙沼市民会館 中ホール

## 復興記念コンサート

令和4年9月4日(日)

開場 / 12:30 開演 / 13:00

気仙沼市民会館 大ホール

主催：東日本大震災復興支援活動写真展気仙沼実行委員会

《構成 / 協賛団体》

気仙沼漁業協同組合、一般社団法人気仙沼市観光協会、一般社団法人気仙沼青年会議所、気仙沼市物産振興協会、本吉唐桑商工会、気仙沼ライオンズクラブ、気仙沼ロータリークラブ、気仙沼南ロータリークラブ、宮城県隊友会気仙沼・本吉支部、宮城県自衛隊家族会気仙沼地区会

特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構

共催：気仙沼商工会議所、気仙沼市、気仙沼市教育委員会

後援：駐日アメリカ大使館、内閣府、外務省、防衛省、国土交通省東北地方整備局、経済産業省、復興庁、消防庁、宮城県、独立行政法人中小企業基盤整備機構

協力：気仙沼市民会館（気仙沼市民会館文化振興事業）

在日米陸軍、陸上自衛隊第6師団、気仙沼市立鹿折中学校

陸上自衛隊、在日米軍、自衛隊宮城地方協力本部、気仙沼・本吉消防本部、日本郵便、海上保安庁、復興庁、東日本電信電話株式会社・ドコモ、国土交通省東北地方整備局、東京電力、東北電力株式会社宮城支店、東北電力ネットワーク株式会社宮城支社、日本赤十字社本社、日本赤十字社宮城支部、宮城県社会福祉協議会、気仙沼市社会福祉協議会、東日本高速道路株式会社、潜水救難捜索協会、株式会社世界地図、ボランティアの皆様等

# プログラム

## 第1部 開会式

- |                                 |         |
|---------------------------------|---------|
| 1 オープニング 気仙沼市立鹿折中学校<br>「島中ソーラン」 | 4 主催者挨拶 |
| 2 開会の辞                          | 5 ご来賓祝辞 |
| 3 黙 禱                           | 6 ご来賓紹介 |
|                                 | 7 閉会の辞  |

## 第2部 復興祈念コンサート

### 1 在日米陸軍軍楽隊による演奏

- |                    |                                      |
|--------------------|--------------------------------------|
| フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン   | 作曲：バート・ホワード<br>編曲：サミー・ネスティコ          |
| ジョン・ブラウンの屍         | 編曲：ジョン・オッド                           |
| ア・タイム・フォー・ラブ       | 作曲：ジョニー・マンデル                         |
| マック・ザ・ナイフ          | 編曲：スティーブ・シッドウェル                      |
| スウィート・チャイルド・オブ・マイン | 作曲：ガンズ・アンド・ローゼス<br>編曲：ロバート・ハリソン 2等軍曹 |
| 星条旗よ永遠なれ           | 作曲：ジョン・フィリップ・スーザ<br>編曲：デイブ・ウォルプ      |

《 休 憩 》

### 2 陸上自衛隊第6音楽隊による演奏

- TOKYO2020入場曲メドレー  
「ドラゴンクエスト」～「モンスターハンター」～「ファイナル・ファンタジー」
- |                |          |
|----------------|----------|
| 合唱曲「群青」        | 作曲：小田 美樹 |
| リトル・マーメイド・メドレー | 編曲：星出 尚志 |

### 3 「絆の輪」継承セレモニー

《 休 憩 》

### 4 在日米陸軍軍楽隊・陸上自衛隊第6音楽隊による合同演奏

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| さくらさくらBrassRock   | 編曲：宮川 成治 |
| 上を向いて歩こう/SUKIYAKI | 作曲：中村 八大 |
| キャラバンの到着          | 編曲：真島 俊夫 |
| シング・シング・シング       | 編曲：岩井 直博 |

### 5 謝 辞

# 団体紹介

## 在日米陸軍軍楽隊

在日米陸軍軍楽隊の歴史は半世紀以上に始まっています。

1941年にノースキャロライナ州キャンプデービスにて第96沿岸砲兵軍楽隊として産声をあげ、1943年再編成され、第296陸軍軍楽隊として再指定された後、第二次世界大戦中には西太平洋軍事行動に参加し、1948年に現役任務を解かれました。1955年にアラバマ州フォートマックレランにて再編成され、日本に移転し、2001年2月に在日米陸軍軍楽隊として任命され現在に至ります。

現在、在日米陸軍軍楽隊は神奈川県キャンプ座間に駐留し、毎年武道館で行われる自衛隊音楽まつりを始め、さっぽろ雪まつり、沖縄での催事、横浜スーパーパレードなど日本各地の行事にて日米親善のための演奏活動を行っております。年間235回以上の公演を行い、観客数は述べ1,200万人を超えます。

軍楽隊には約40名の隊員がおり、コンサートバ

ンド、マーチングバンドを構成し、行進曲、ブロードウェーのヒット曲、ポップス、クラシック、日本の音楽など様々な音楽を演奏します。歌、楽器のソロはもちろん、ロックバンド、ビックバンド、ジャズコンボ、アメリカンブラスバンド、ラテンバンド、金管五重奏、木管五重奏など多岐にわたる編成での演奏を提供しております。



## 陸上自衛隊第6音楽隊

昭和29年、第6管区音楽隊として東京で発足、昭和37年から第6師団音楽隊として東根市神町駐屯地に所在し、昭和50年に師団唯一の音楽科職種部隊として新編独立、第6音楽隊と名称を変更。現在は隊長2等陸尉濱中則昭の指揮統率のもと、山形、宮城、福島の南東北3県を担当し、第6師団記念行事、定期演奏会、師団音楽まつり、巡回演奏会、各種行事における演奏など幅広い演奏活動を行っています。



## コンサート観覧時のお願い

◆演出効果の妨げとなりますので、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードでご使用ください。

◆許可なく写真撮影・ビデオ撮影・携帯カメラによる録音、撮影することを禁じます。

※入場の際の検温と手指消毒にご協力ください。

※会場内ではマスクの常時着用をお願いします。マスクを着用していない方は、入場をお断りします。

※会場内では大声での声援や会話は控え、拍手による応援をお願いします。

※体調が悪い場合や感染が疑われる場合は、来場をお控えください。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、コンサートを中止または内容を変更する場合がございます。